

ドイツ語読解演習

科目責任者 寺田雄介
学年・学期 1学年・3学期

I. 前 文

本学の「ドイツ語」(語学選択)の授業はコミュニケーション能力の向上を主眼に据えているが、一方で「ドイツ語読解演習」(人文自然選択)では、文構造や初歩的な文法に着目しながら、平易なドイツ語を「読む」行為に焦点を当てる。授業時間内に辞書を引きながら精読するので、予習の必要はない。

テキストには、ドイツで編纂された教科書から抜粋したもの、ドイツ語技能検定試験の過去問題等を主に用いるが、履修者の関心のあるテーマについて書かれた短い文章も扱うつもりである。1・2学期で学んだ文法事項を確実に活用し、授業中に紹介するいくつかのテクニックを駆使すれば、十分に読みこなせるレベルである。

なお、授業で扱った内容が理解できているかどうかを確認するために、最終授業で簡単なペーパーテストを実施する。

文章を読むことが好きな学生の履修を期待しているが、「ドイツ語」(語学選択)の理解をより深める目的で履修する学生も歓迎する。一緒にゆっくりと、しかし着実にトレーニングを進めよう。

II. 担当教員

寺田雄介 (語学・人文教育部門)

III. 一般学習目標

「読む」行為を通してドイツ語の構造を正確に理解できるようにするのが、この授業の目標である。

IV. 学修の到達目標

1. ドイツ語の文章構造を的確に説明することができる。
2. 平易なドイツ語の文章を、辞書を用いながら独力で読み進めることができる。

V. 授業計画及び方法

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者
1	11	11	水	4	導入、辞書の引き方	寺田雄介
2		18	水	3	動詞の位置と語順から構文を捉える	
3		25	水	4	動詞の形から時制を知る①	
4	12	2	水	4	動詞の形から時制を知る②	
5		9	水	4	前置詞句を手がかりに文構造を把握する	
6	1	6	水	4	正確に読むために格変化を利用する①	
7		13	水	4	正確に読むために格変化を利用する②	
8		13	水	5	新しい文法に着目する①-比較	
9		20	水	4	新しい文法に着目する②-関係代名詞	
10		20	水	5	まとめ、テスト	

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

授業への積極的な参加すなわち平常点（50%）とペーパーテスト（50%）の結果を併せて、総合的に評価する。

VII. 教科書・参考図書・AV資料

教科書：コピーしたものを配布する。

辞書：担当教員が貸し出す。

VIII. 質問への対応方法

授業中に積極的に質問すること。あるいは研究室（基礎棟3階，ドイツ語教員室，内線2197）まで来ていただいても構わない。メールアドレスは以下の通り。

terada@dokkyomed.ac.jp

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置くDP ○：重点を置くDP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能，種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い，他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療，予防について原理や特徴を含めて理解し，他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け，正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け，患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け，患者やその家族，あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	
	書籍や種々の資料，情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し，自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち，専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち，実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し，自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け，自らの行動に反映させることができる。	○
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

①授業内試験の結果を講評・解説する。

XI. 求められる事前学習，事後学習

シラバス別冊に記載。なお，シラバス別冊に記載が無い場合，要点を確認しておくこと。（所要時間の目安20分）

XII. コアカリ記号・番号

シラバス別冊に記載。なお，シラバス別冊に記載が無い場合，要点を確認しておくこと。（所要時間の目安20分）